

# 令和4年度第5回 インターネット都政モニターアンケート

「東京の森林・林業」

調査結果



## 調査実施の概要

- 1 アンケートテーマ**  
東京の森林・林業
- 2 アンケート目的**  
東京における森林整備と林業振興に関する施策を推進するにあたり、森林・林業に関する関心や期待など、都民の意向を把握し、今後の施策展開の参考とする。
- 3 アンケート期間**  
令和4年11月30日（水曜日）から12月6日（火曜日）まで
- 4 アンケート方法**  
インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。
- 5 インターネット都政モニター数**  
500人
- 6 回答者数**  
487人
- 7 回答率**  
97.4%

## 東京の森林・林業

### 1 調査項目

- Q 1 東京の森林との関わり
- Q 2 東京の森林への期待
- Q 3 森林（人工林）の伐採について
- Q 4 東京の林業の認知度
- Q 5 林業関係の仕事のイメージ
- Q 6 東京の林業関係への就業について
- Q 7 多摩産材の認知度
- Q 8 多摩産材を知ったきっかけ
- Q 9 多摩産材の用途
- Q 10 木材製品を購入する際に重視する点
- Q 11 生活に取り入れたい木材製品
- Q 12 国産木材の利用意向
- Q 13 木育の認知度
- Q 14 東京都の木育の取組
- Q 15 森林環境税等の認知度
- Q 16 森林環境譲与税の使途
- Q 17 東京都の森林・林業振興施策
- Q 18 東京の森林・林業について（自由意見）

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	487	-	97.4
性 別	男性	250	244	50.1	97.6
	女性	250	243	49.9	97.2
年 代 別	18・19歳	9	7	1.4	77.8
	20代	64	62	12.7	96.9
	30代	83	82	16.8	98.8
	40代	93	90	18.5	96.8
	50代	85	85	17.5	100.0
	60代	78	76	15.6	97.4
	70歳以上	88	85	17.5	96.6
職 業 別	自営業	51	49	10.1	96.1
	常勤	221	218	44.8	98.6
	パート・アルバイト	46	46	9.4	100.0
	主婦・主夫	92	88	18.1	95.7
	学生	27	25	5.1	92.6
	無職	63	61	12.5	96.8
居住地域別	東京都区部	343	333	68.4	97.1
	東京都市町村部	157	154	31.6	98.1

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA) =いくつでも選択、(3MA) =3つまで選択、(2MA) =2つまで選択

東京の総面積の約4割は森林であり、多摩地域と伊豆・小笠原の島しょ地域には、東京23区よりも広大な森林が広がっています。こうした森林は、水資源の貯留や土砂災害の防止など、都民に多くの恵みをもたらしており、その機能は、近年の気候変動の影響が深刻さを増す中でますます重要になっています。

また、戦後に造成された人工林の多くが伐り時・使い時を迎えており、森林を将来にわたり健全に維持するためには、「森林循環（伐って、使って、植えて、育てるサイクル）」を促すことが必要となっています。

このような状況を踏まえ、社会情勢の変化に伴う新たな視点を取り込みながら森づくりを推進していくために、都政モニターの皆様にご意見を伺います。

東京の森林・林業の詳細は、下記ホームページをご覧ください。

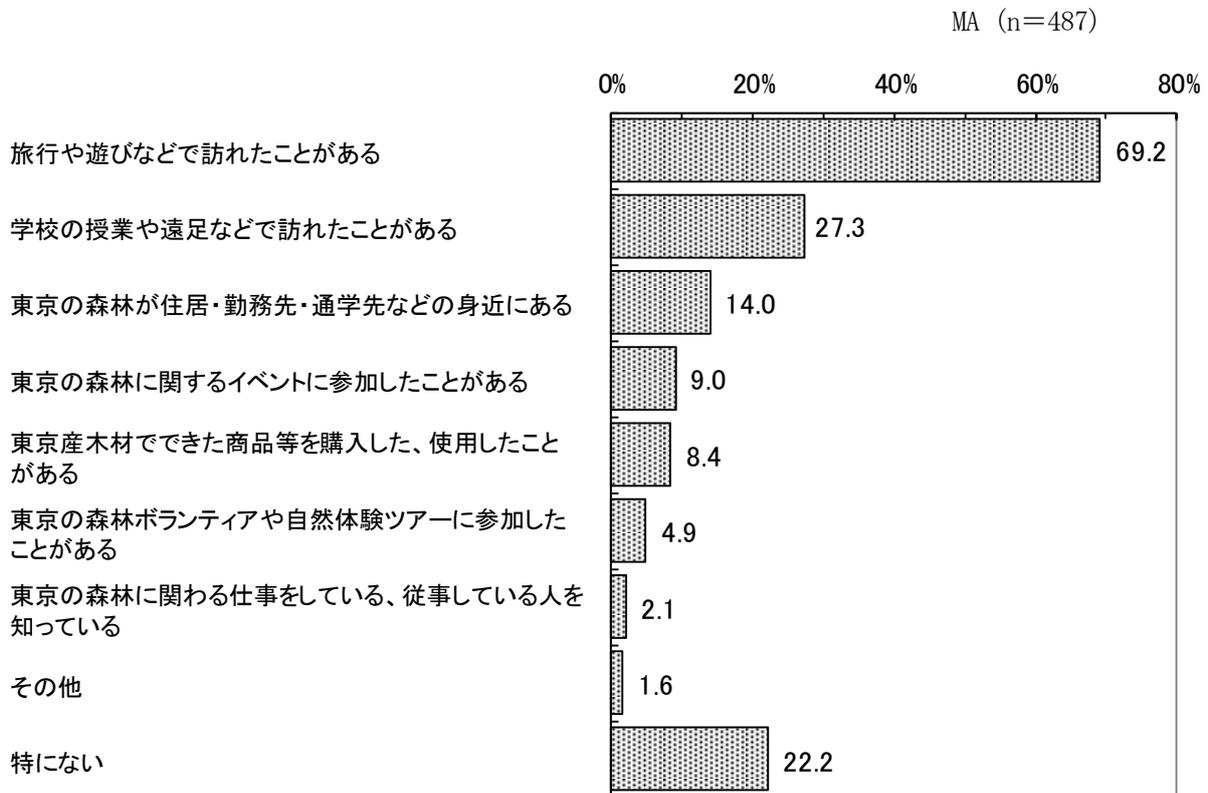
林業 <https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/ringyou/>



## 東京の森林との関わり

Q 1 東京の総面積の約4割を占める森林（公園を除く）は、そのほとんどが多摩地域（奥多摩や高尾山等）や島しょ地域（伊豆諸島等）に広がっています。

あなたはこれまでに、東京の森林と接したり関わったりしたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。



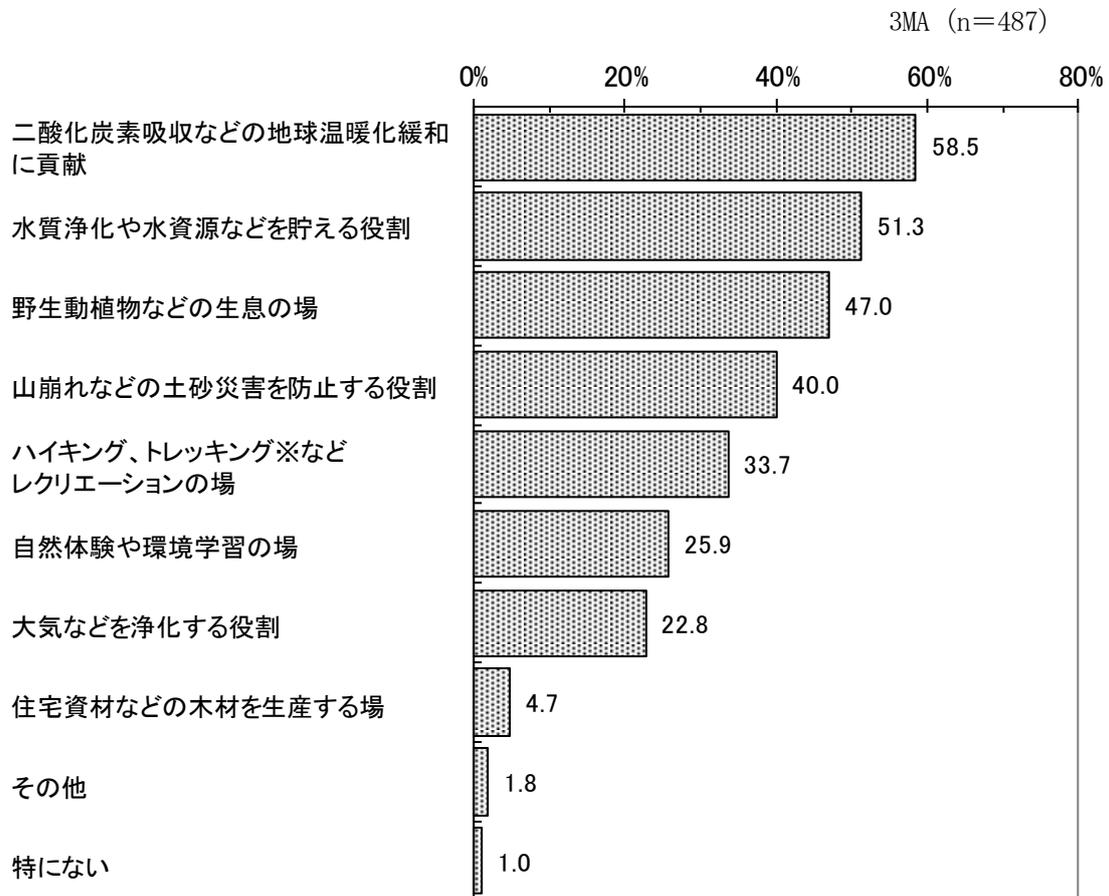
### 【調査結果の概要】

これまでに東京の森林と接したり関わったりしたか聞いたところ、「旅行や遊びなどで訪れたことがある」(69.2%)が7割近くで最も高く、以下、「学校の授業や遠足などで訪れたことがある」(27.3%)、「東京の森林が住居・勤務先・通学先などの身近にある」(14.0%)などと続いている。

なお、「特になし」(22.2%)は2割超であった。

## 東京の森林への期待

Q2 あなたは、東京の森林にどのような機能や役割を期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

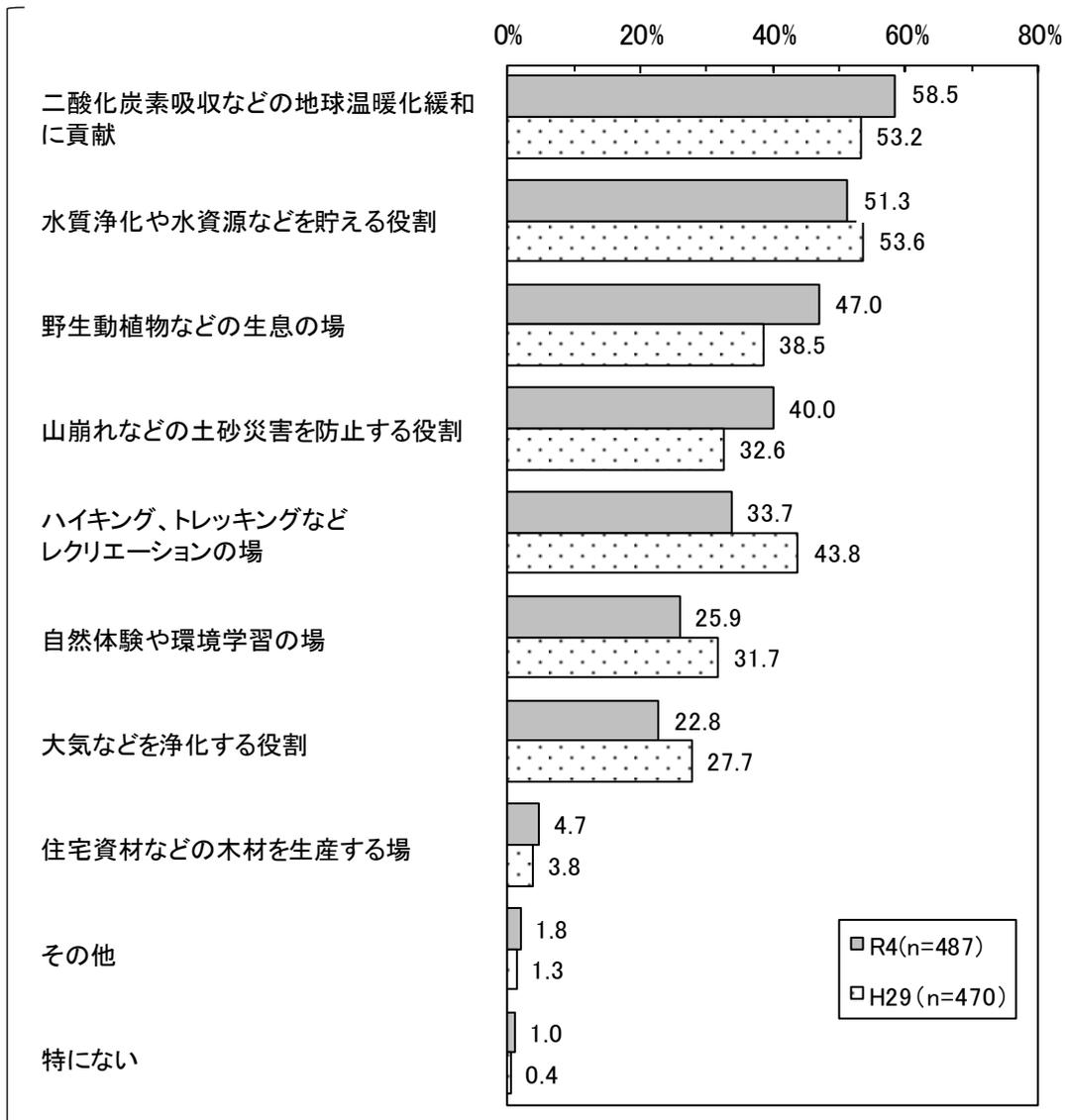


※ トレッキング：山頂を目指すことにこだわらない山歩き

### 【調査結果の概要】

東京の森林に期待する機能や役割について聞いたところ、「二酸化炭素吸収などの地球温暖化緩和に貢献」(58.5%)が6割近くで最も高く、以下、「水質浄化や水資源などを貯える役割」(51.3%)、「野生動植物などの生息の場」(47.0%)などと続いている。

◎前回調査との比較 (前回：平成 29 年 6 月実施「東京の森林・林業と水産業」)

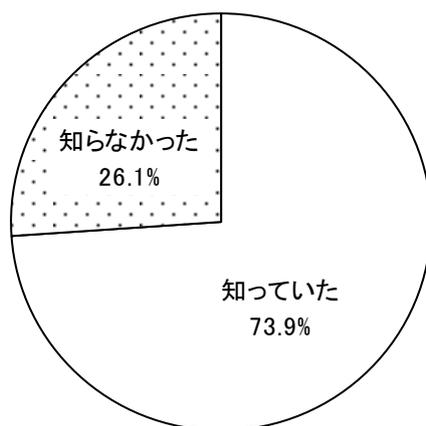


## 森林（人工林）の伐採について

Q3 人の手によって植栽された森林は、木を適切な時期に「伐採」し、利用することで、その収益から再び植栽して木を育てるという「森林循環」が促されます。これにより、良質な木材を安定的に生産でき、森林の持つ多面的な機能（二酸化炭素の吸収・固定や山崩れ防止等）も向上します。

あなたは、人工の森林を適正に管理するために、伐採が必要なことを知っていましたか。

(n=487)



### 【調査結果の概要】

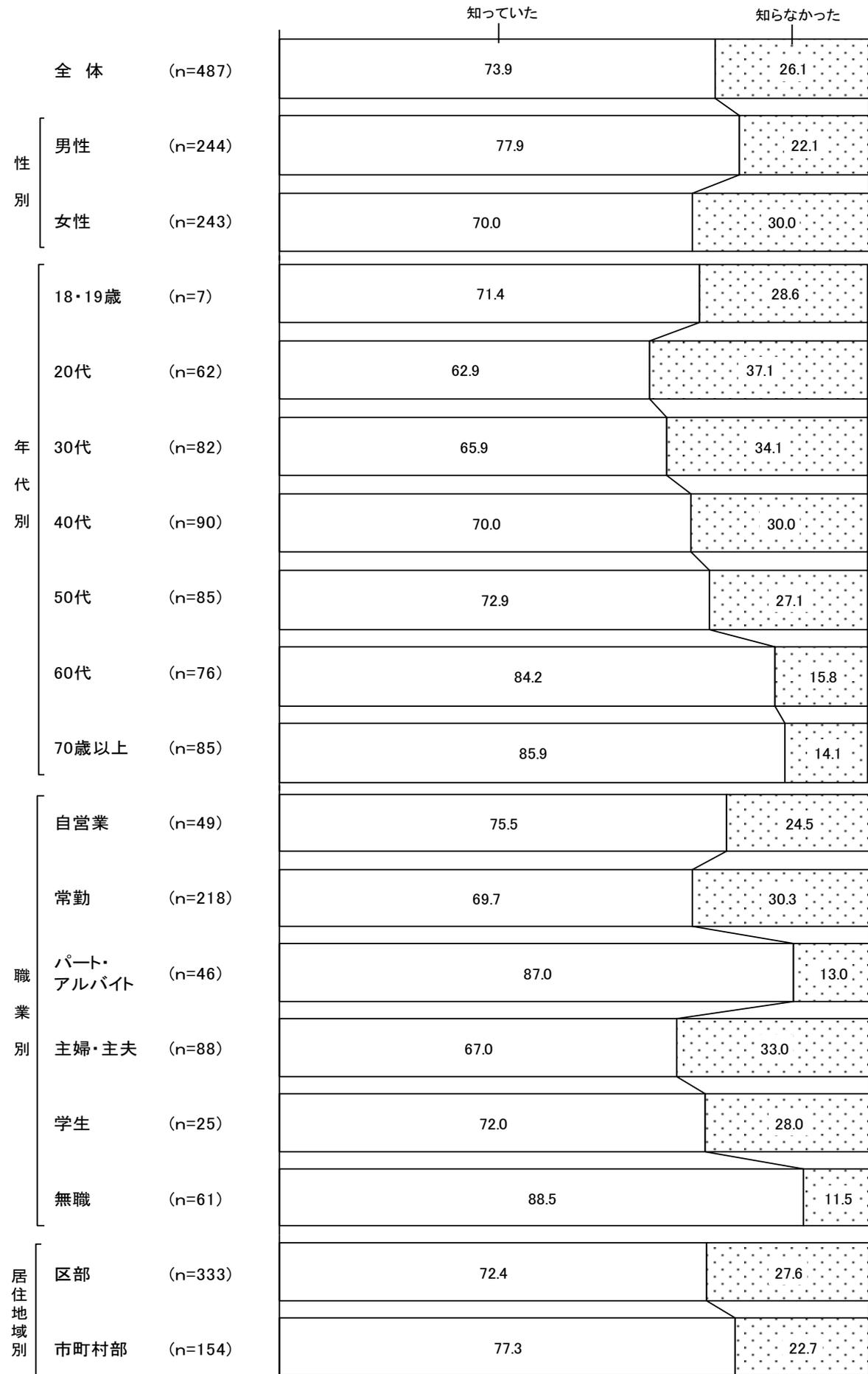
人工の森林を適正に管理するために、伐採が必要なことを知っているか聞いたところ、「知っていた」(73.9%)が7割半ばであり、「知らなかった」(26.1%)は2割半ばであった。

【参考：「伐採（主伐・間伐）」を含む森林循環のイメージ】



(林野庁発行「令和3年度 森林・林業白書」より)

◎森林（人工林）の伐採について（属性別）

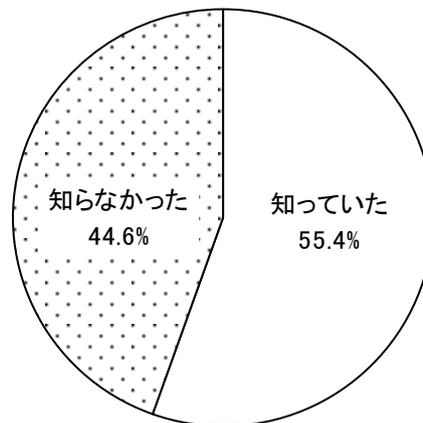


## 東京の林業の認知度

Q 4 東京の多摩地域の森林は約 6 割が人工林であり、このような森林では木材の生産等が行われています。

あなたは、東京においても、林業が営まれていることを知っていましたか。

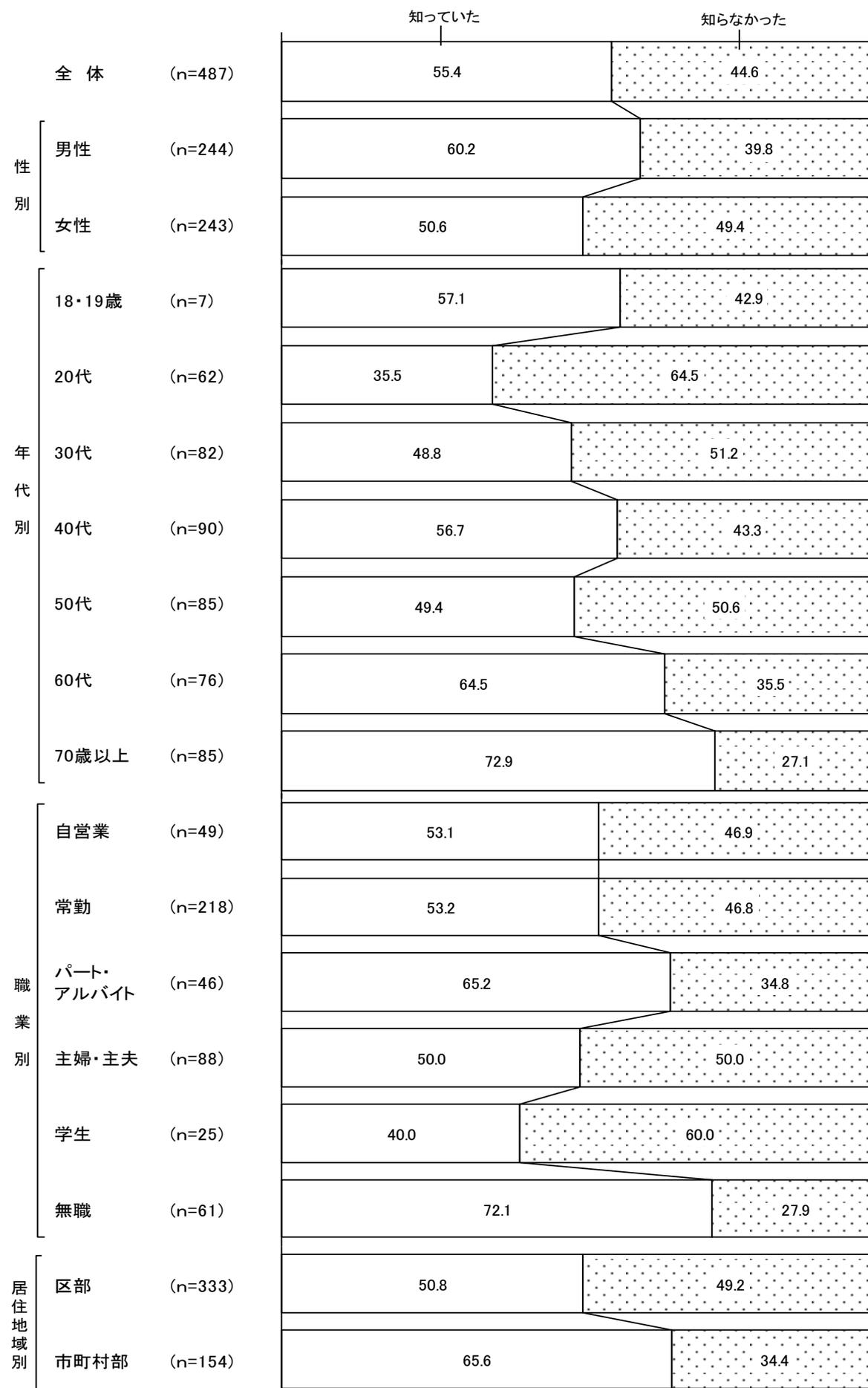
(n = 487)



### 【調査結果の概要】

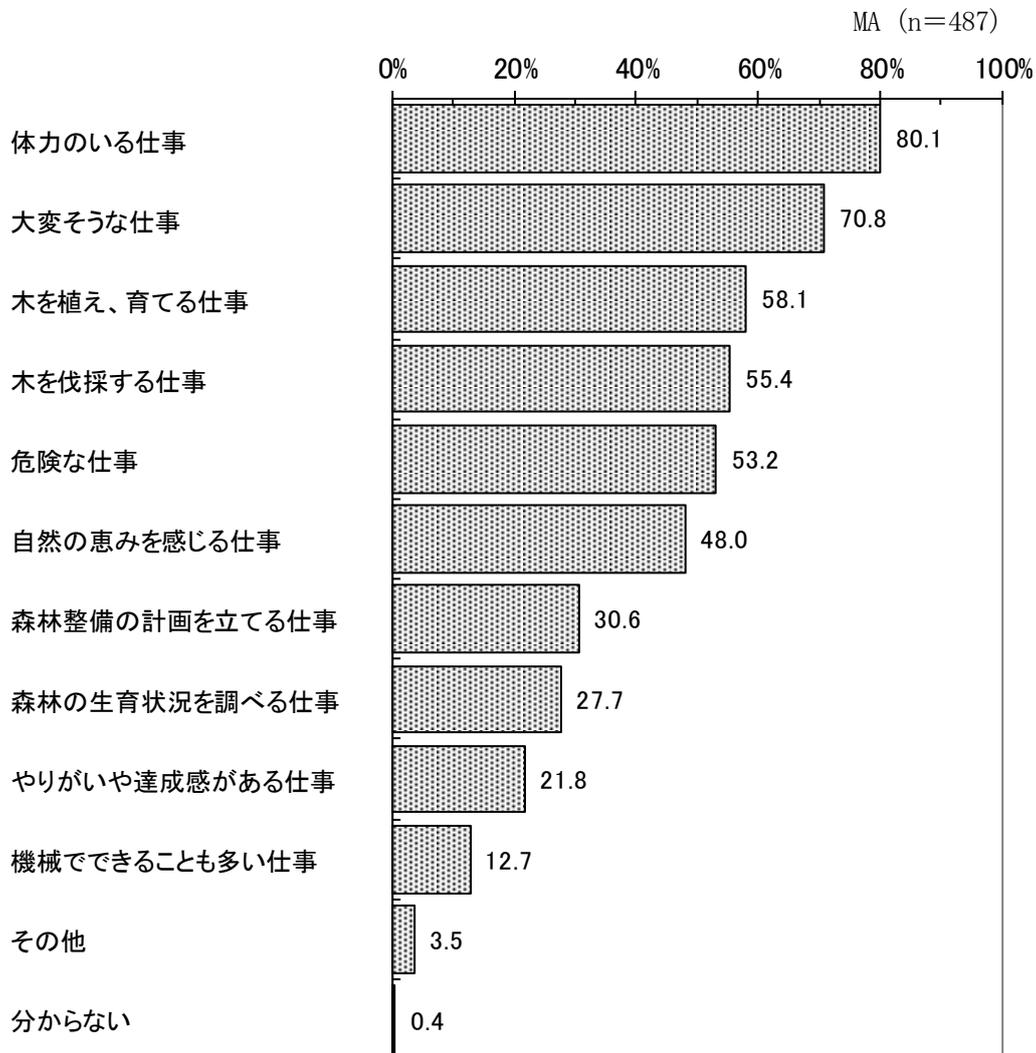
東京の林業の認知度について聞いたところ、「知っていた」(55.4%)が5割半ばであり、「知らなかった」(44.6%)は4割半ばであった。

◎東京の林業の認知度（属性別）



## 林業関係の仕事のイメージ

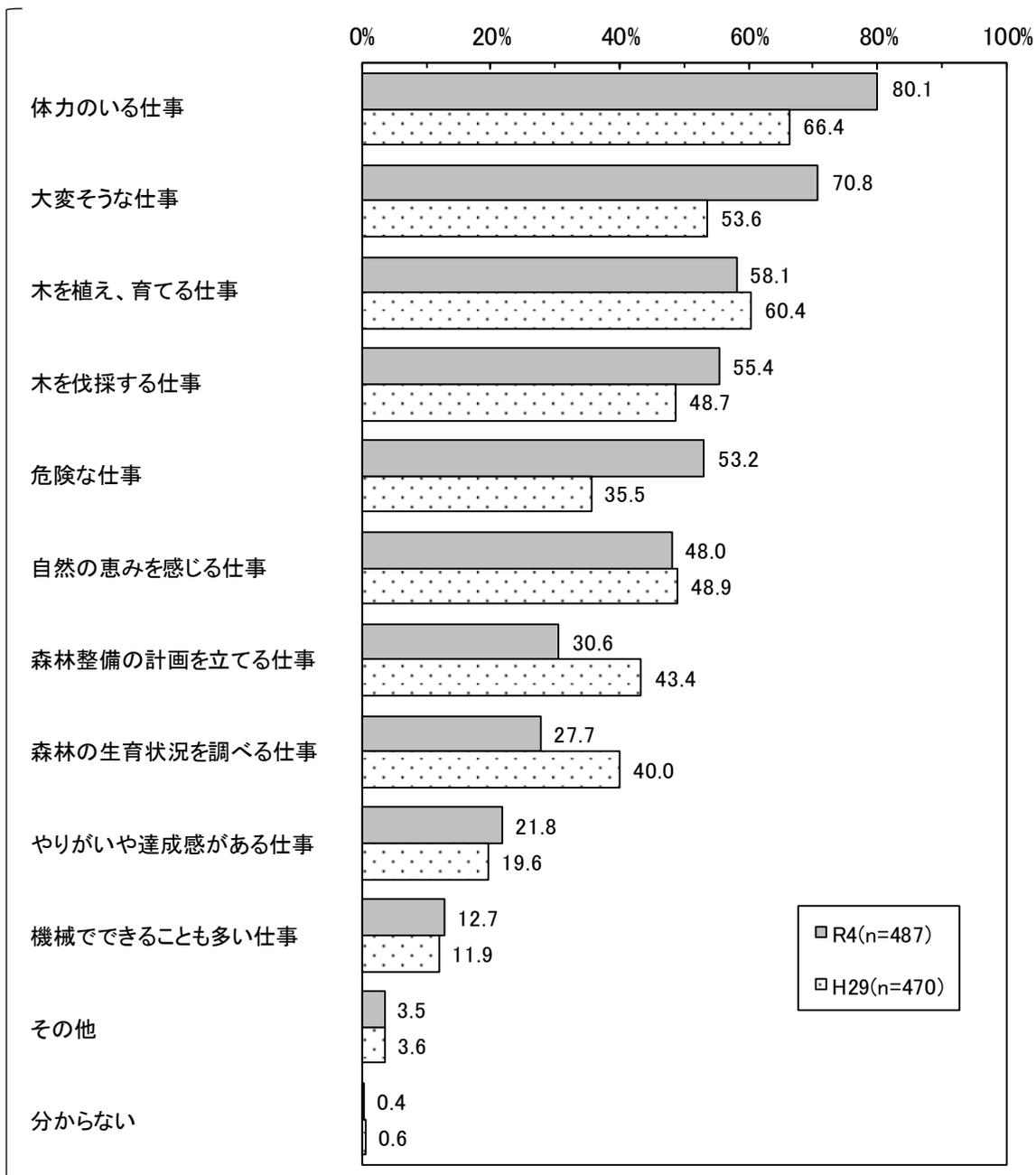
Q 5 林業関係の仕事について、あなたはどのようなイメージを持っていますか。次の中からいくつでも選んでください。



### 【調査結果の概要】

林業関係の仕事のイメージについて聞いたところ、「体力のいる仕事」(80.1%)が約8割で最も高く、以下、「大変そうな仕事」(70.8%)、「木を植え、育てる仕事」(58.1%)などと続いている。

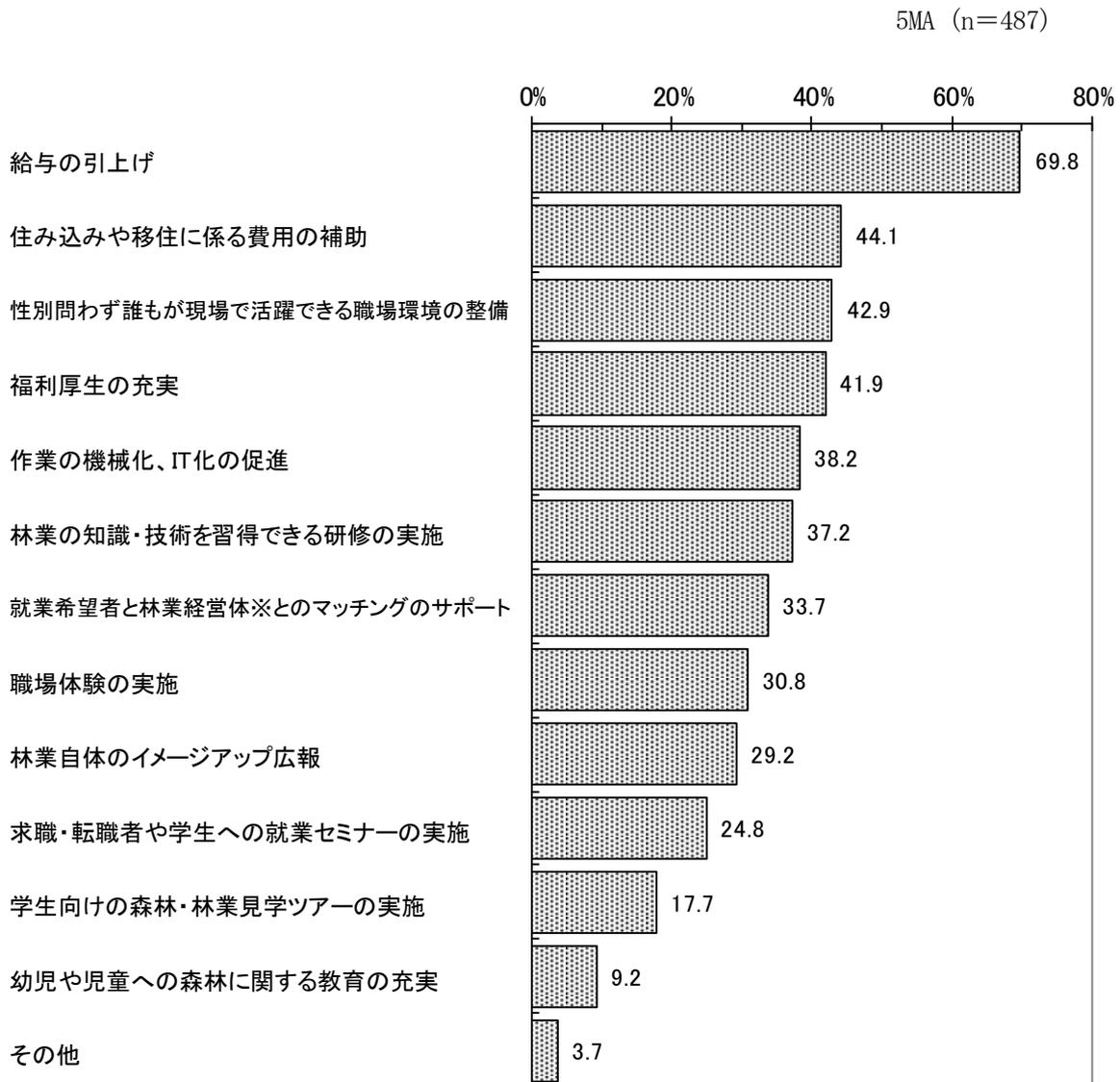
◎前回調査との比較 (前回：平成29年6月実施「東京の森林・林業と水産業」)



## 東京の林業関係への就業について

Q 6 多摩地域の林業従事者数は、昭和 35 (1960) 年には 2,000 人を超えていましたが、現在は 260 人程度となっています。

東京の林業関係への就業者を増やすためには、どのような取組が有効だと思いますか。次の中から 5 つまで選んでください。



※ 林業経営体：林業にかかる生産活動を行っている経営体。事業形態（組合・会社・個人経営等）は問わない。

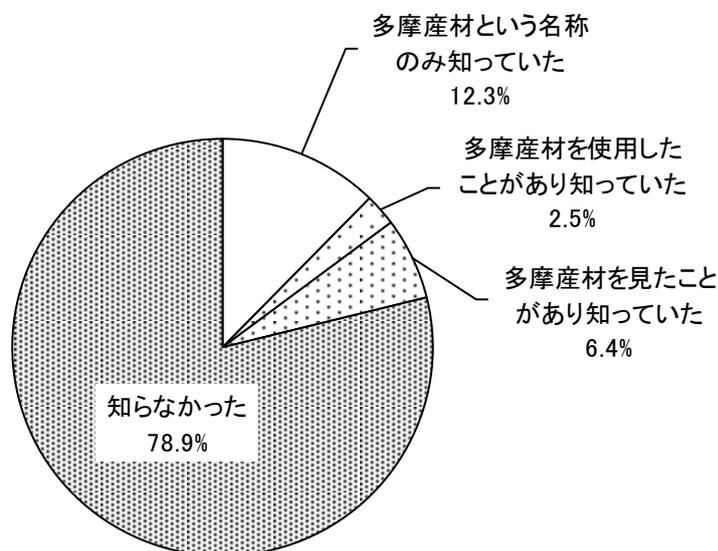
### 【調査結果の概要】

東京の林業関係への就業者を増やすためには、どのような取組が有効だと思うか聞いたところ、「給与の引上げ」（69.8％）が約7割で最も高く、以下、「住み込みや移住に係る費用の補助」（44.1％）、「性別問わず誰もが現場で活躍できる職場環境の整備」（42.9％）などと続いている。

## 多摩産材の認知度

Q 7 多摩地域の森林で育てられた木材は、「多摩産材」と呼ばれています。  
あなたは、多摩産材を知っていましたか。

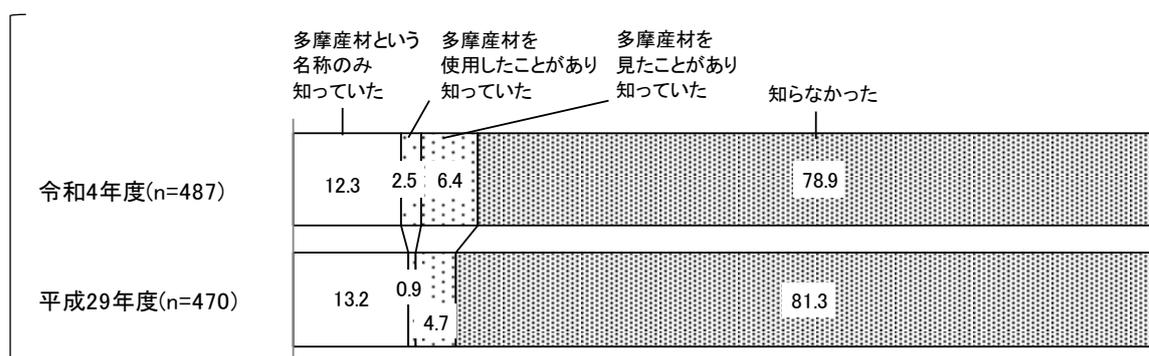
(n=487)



### 【調査結果の概要】

多摩産材の認知度について聞いたところ、『知っていた』(21.2%) (「多摩産材という名称のみ知っていた」(12.3%)、「多摩産材を使用したことがあり知っていた」(2.5%)、「多摩産材を見たことがあり知っていた」(6.4%)) が2割超であり、「知らなかった」(78.9%) は8割近くであった。

◎前回調査との比較 (前回：平成29年6月実施「東京の森林・林業と水産業」)

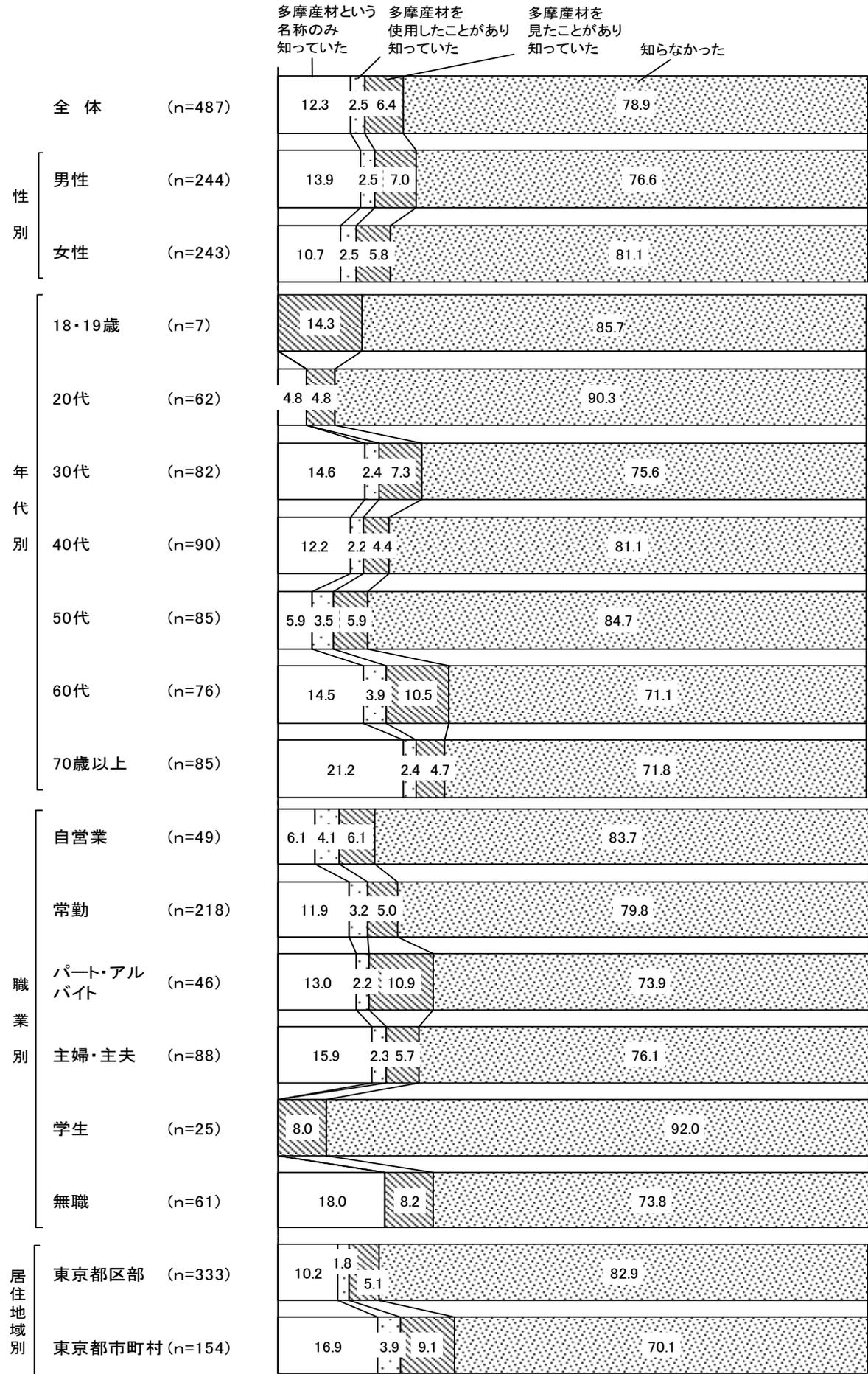


### 【参考：多摩産材について】

- 正式名称：「東京の木 多摩産材」
- 愛称：「とうきょうの木」
- ロゴマーク：立方体にも正六角形に見える図形の中に、「TOKYO」の文字が隠れているデザイン。  
(多摩産材認証協議会)

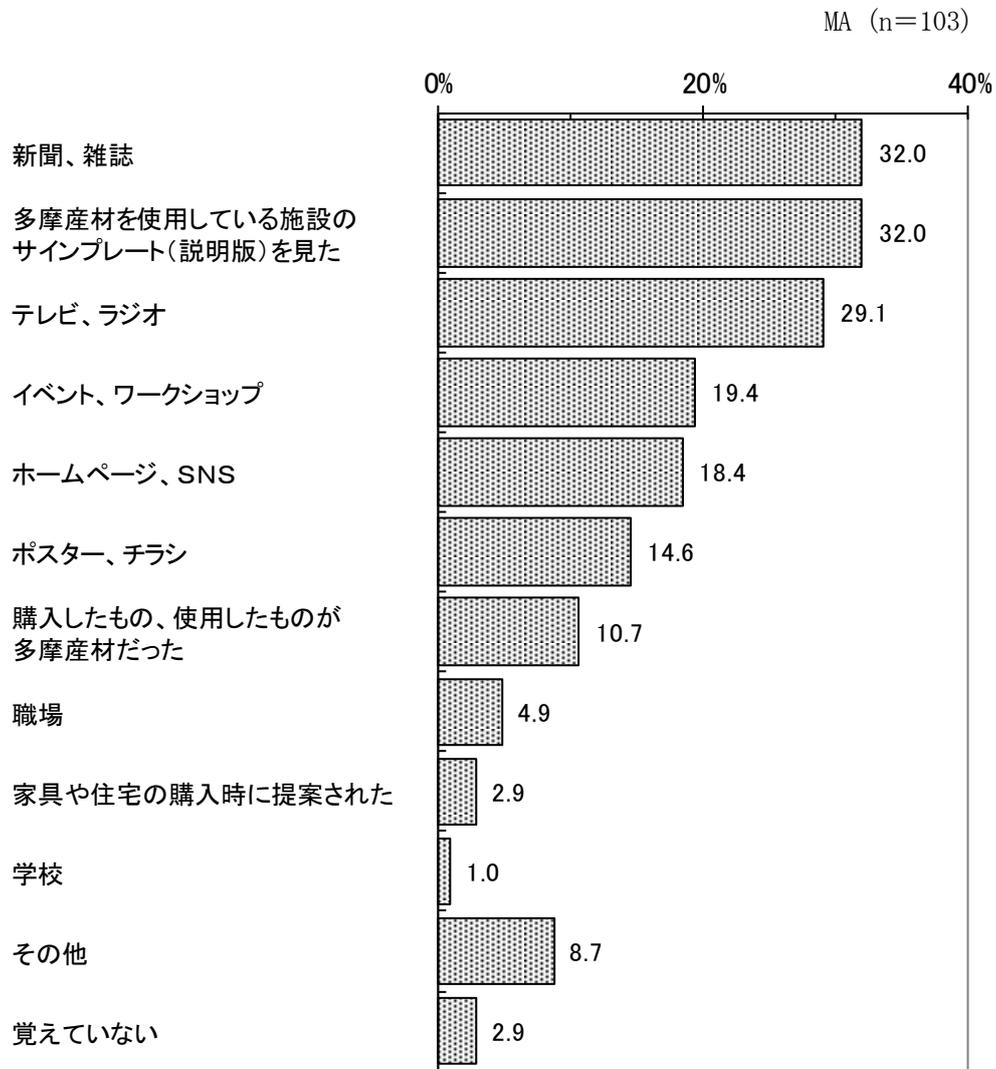


◎多摩産材の認知度（属性別）



## 多摩産材を知ったきっかけ

Q 8 Q 7で「多摩産材という名称のみ知っていた」、「多摩産材を使用したことがあり知っていた」、「多摩産材を見たことがあり知っていた」を選択した方に伺います。あなたが、多摩産材を知ったきっかけは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。



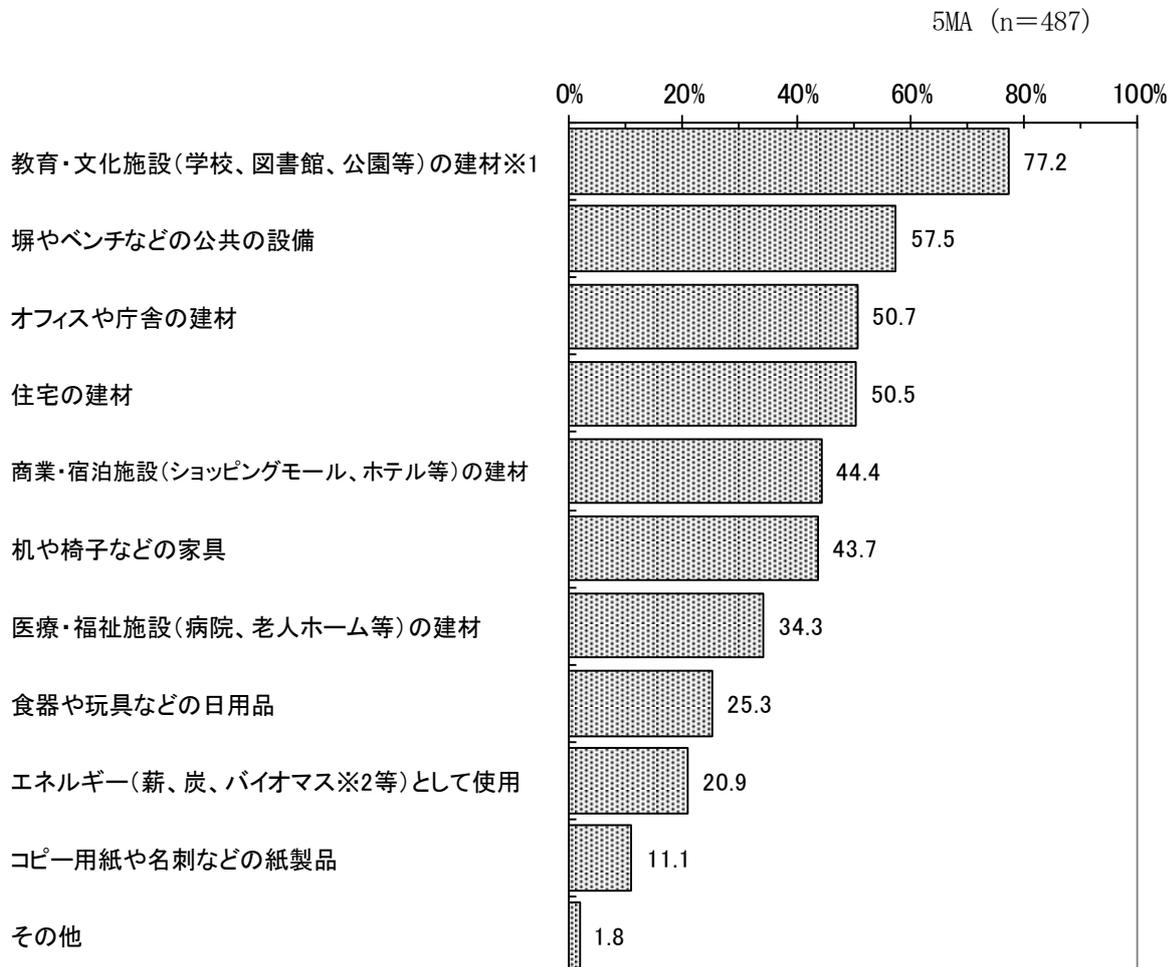
### 【調査結果の概要】

Q 7で「多摩産材という名称のみ知っていた」、「多摩産材を使用したことがあり知っていた」、「多摩産材を見たことがあり知っていた」を選択した方に、多摩産材を知ったきっかけについて聞いたところ、「新聞、雑誌」と「多摩産材を使用している施設のサインプレート(説明版)を見た」(同 32.0%)が3割超と同率で最も高く、以下、「テレビ、ラジオ」(29.1%)、「イベント、ワークショップ」(19.4%)などと続いている。

## 多摩産材の用途

Q9 都では、多摩産材を積極的に活用しようとして取り組んでいます。

あなたは、どのような用途で使用した方がより普及すると思いますか。次の中から5つまで選んでください。



※1 建材：柱などの構造材のほか、床板や壁などの内装材も含む。

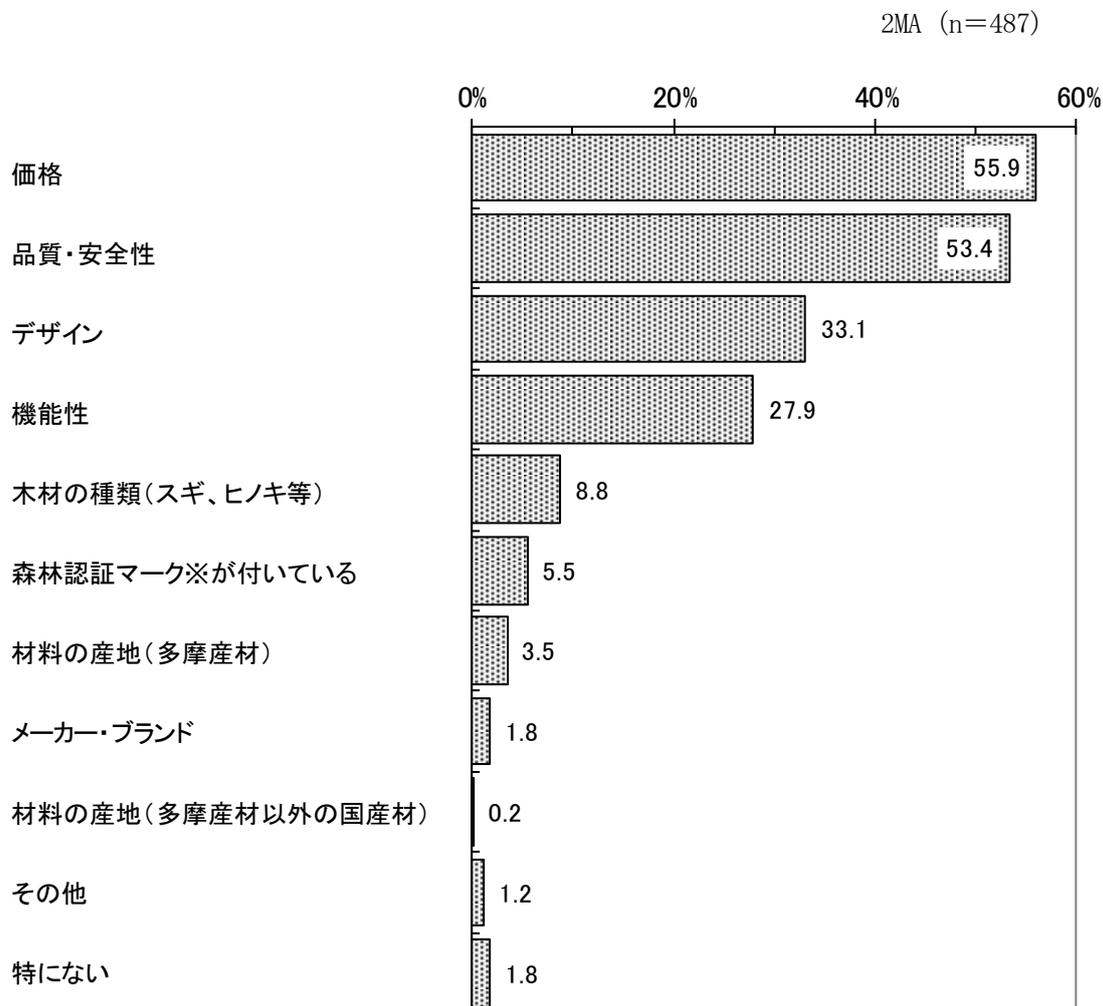
※2 バイオマス：化石燃料を除いた、生物由来の再生可能なエネルギー資源。利用できない残った木材や食品廃棄物、なたね等。

### 【調査結果の概要】

多摩産材の用途について聞いたところ、「教育・文化施設（学校、図書館、公園等）の建材」（77.2%）が8割近くで最も高く、以下、「塀やベンチなどの公共の設備」（57.5%）、「オフィスや庁舎の建材」（50.7%）などと続いている。

## 木材製品を購入する際に重視する点

Q10 木材を使った製品（家具や日用品）を購入する際、あなたは何を重視して購入しますか。次の中から2つまで選んでください。



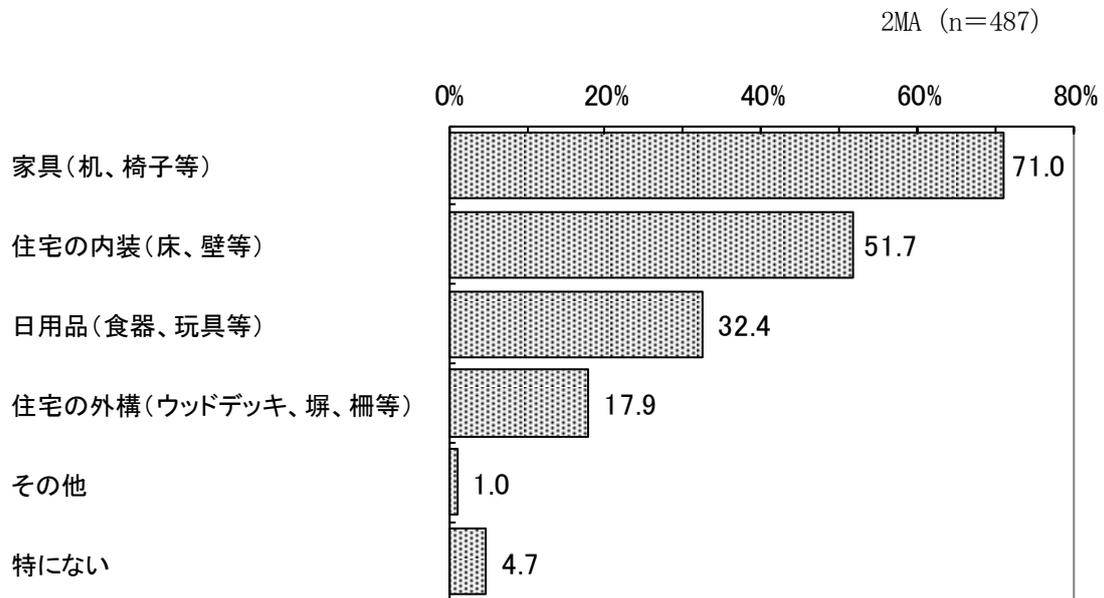
※ 森林認証マーク：適正に管理された森林から伐採された木材であることを認証するマーク。  
代表的なものに、国際的な認証マーク FSC と PEFC、国内向けの認証マーク SGEC がある。

### 【調査結果の概要】

木材製品を購入する際に重視する点について聞いたところ、「価格」(55.9%)が5割半ばで最も高く、以下、「品質・安全性」(53.4%)、「デザイン」(33.1%)などと続いている。

## 生活に取り入れたい木材製品

Q11 あなたが今後、住宅や身の回りのもので木材を取り入れたいと思うものは何ですか。次の中から2つまで選んでください。



### 【調査結果の概要】

生活に取り入れたい木材製品について聞いたところ、「家具（机、椅子等）」（71.0%）が7割を超えて最も高く、以下、「住宅の内装（床、壁等）」（51.7%）、「日用品（食器、玩具等）」（32.4%）などと続いている。

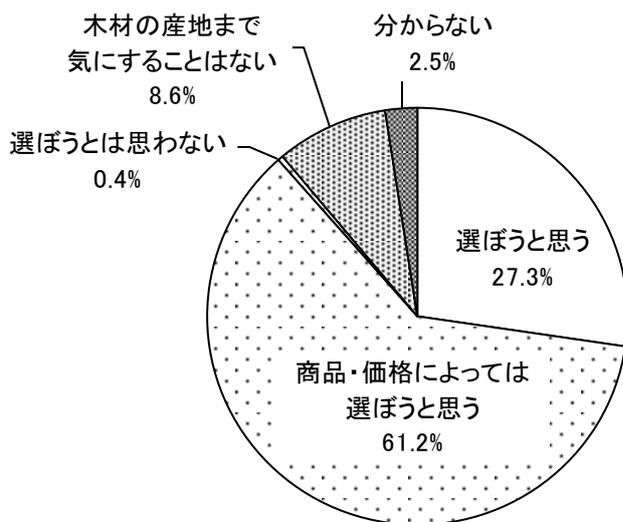
## 国産木材の利用意向

Q12 多摩産材をはじめとする国産木材の自給率は、令和2年度で約4割となっています※。

あなたが今後、木材を使った製品や住宅の建材（内装などのリフォーム含む）を使用する際、外国産木材と比較して、国産木材のものを選ぼうと思いませんか。

※出典：令和3年度 森林・林業白書（林野庁）

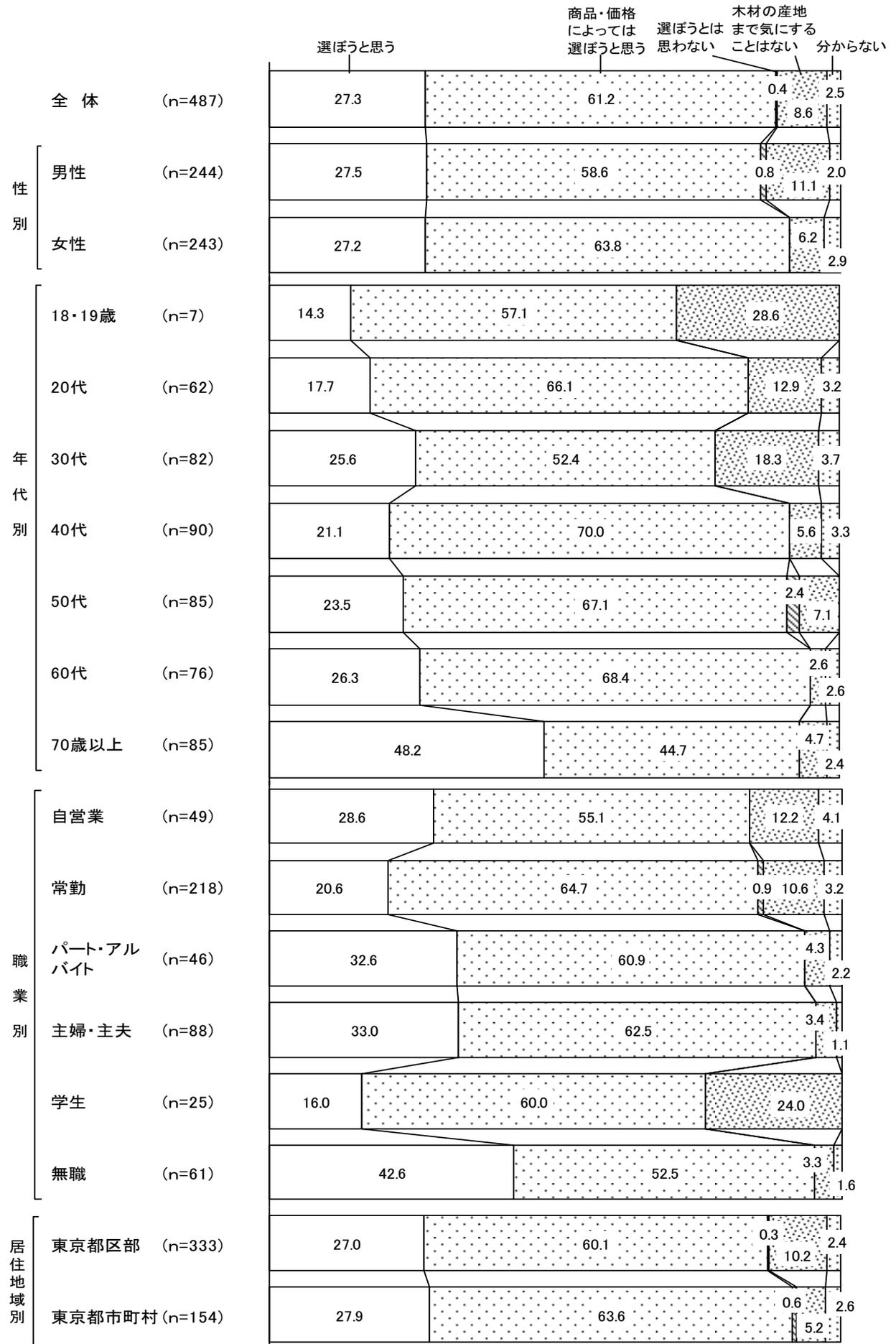
(n=487)



### 【調査結果の概要】

国産木材の利用意向について聞いたところ、「商品・価格によっては選ぼうと思う」（61.2%）が6割を超えて最も高く、以下、「選ぼうと思う」（27.3%）、「木材の産地まで気にすることはない」（8.6%）などと続いている。

◎国産木材の利用意向（属性別）

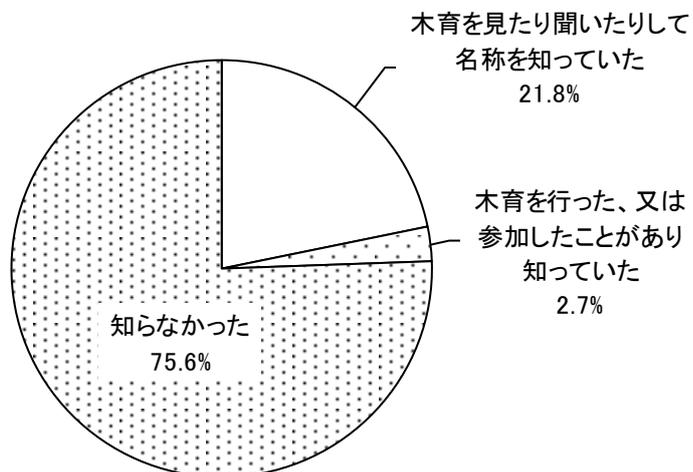


## 木育の認知度

Q13 “子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組”のことを「木育」と呼んでいます。

あなたは、木育を知っていましたか。

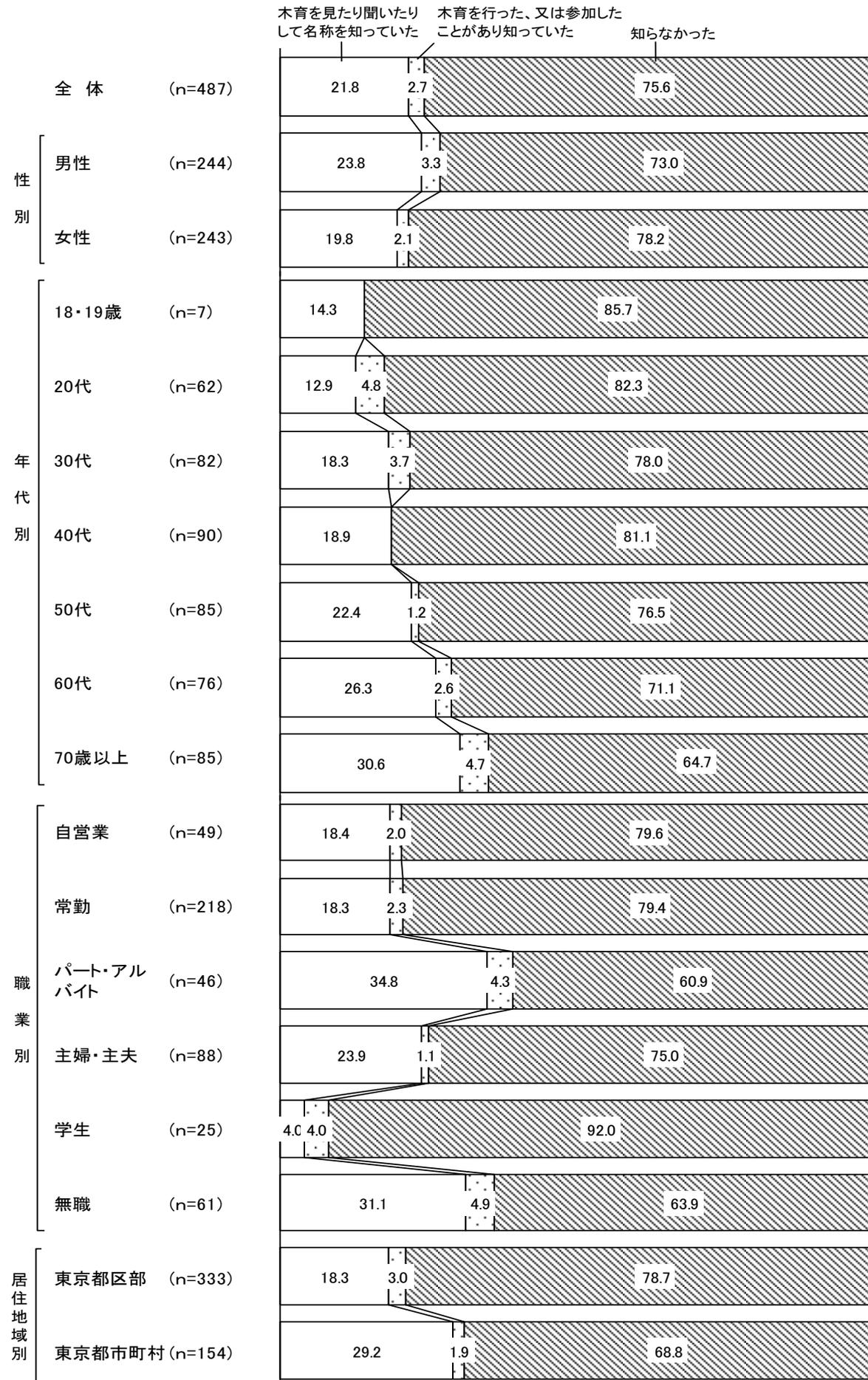
(n = 487)



### 【調査結果の概要】

木育の認知度について聞いたところ、『知っていた』(24.5%) (「木育を見たり聞いたりして名称を知っていた」(21.8%)、「木育を行った、又は参加したことがあり知っていた」(2.7%)) が2割半ばであり、「知らなかった」(75.6%) は7割半ばであった。

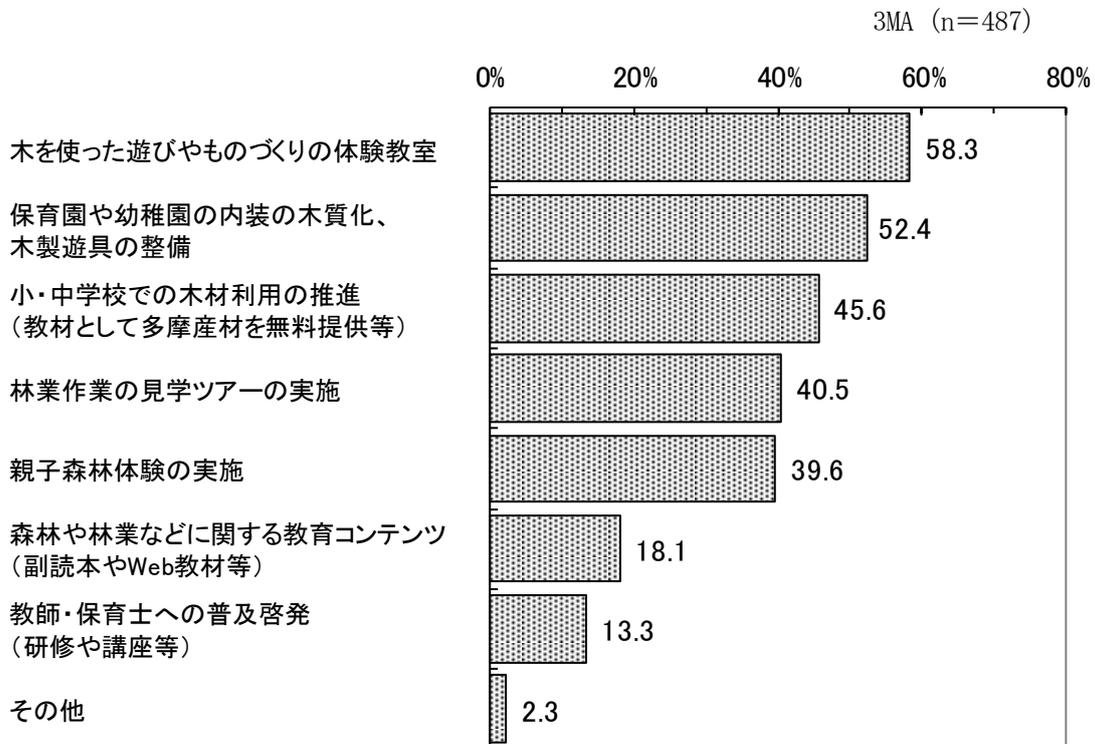
◎木育の認知度（属性別）



## 東京都の木育の取組

Q14 都では、木材や木製品とのふれあいを通じて、木や森への親しみを深め、森林の役割や木の良さ・利用意義等を学ぶ「木育」を推進しています。

あなたは木育として、どのような取組が効果的だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



### 【調査結果の概要】

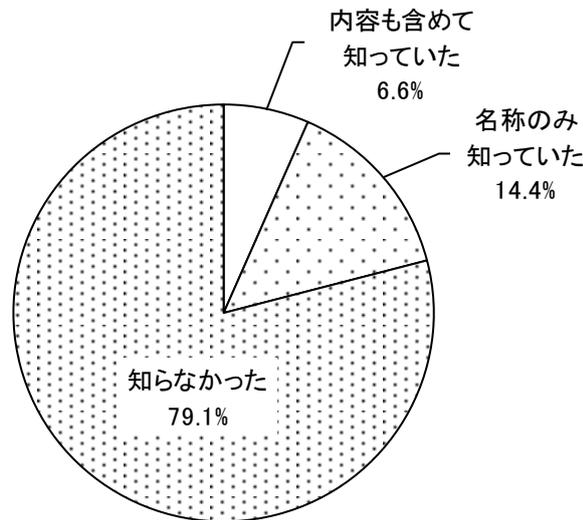
東京都の木育として、どのような取組が効果的だと思うか聞いたところ、「木を使った遊びやものづくりの体験教室」(58.3%)が6割近くで最も高く、以下、「保育園や幼稚園の内装の木質化、木製遊具の整備」(52.4%)、「小・中学校での木材利用の推進(教材として多摩産材を無料提供等)」(45.6%)などと続いている。

## 森林環境税等の認知度

Q15 温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、令和元（2019）年に国が森林環境税及び森林環境譲与税を創設しました。

あなたは、森林環境税及び森林環境譲与税を知っていましたか。

(n = 487)



### 【調査結果の概要】

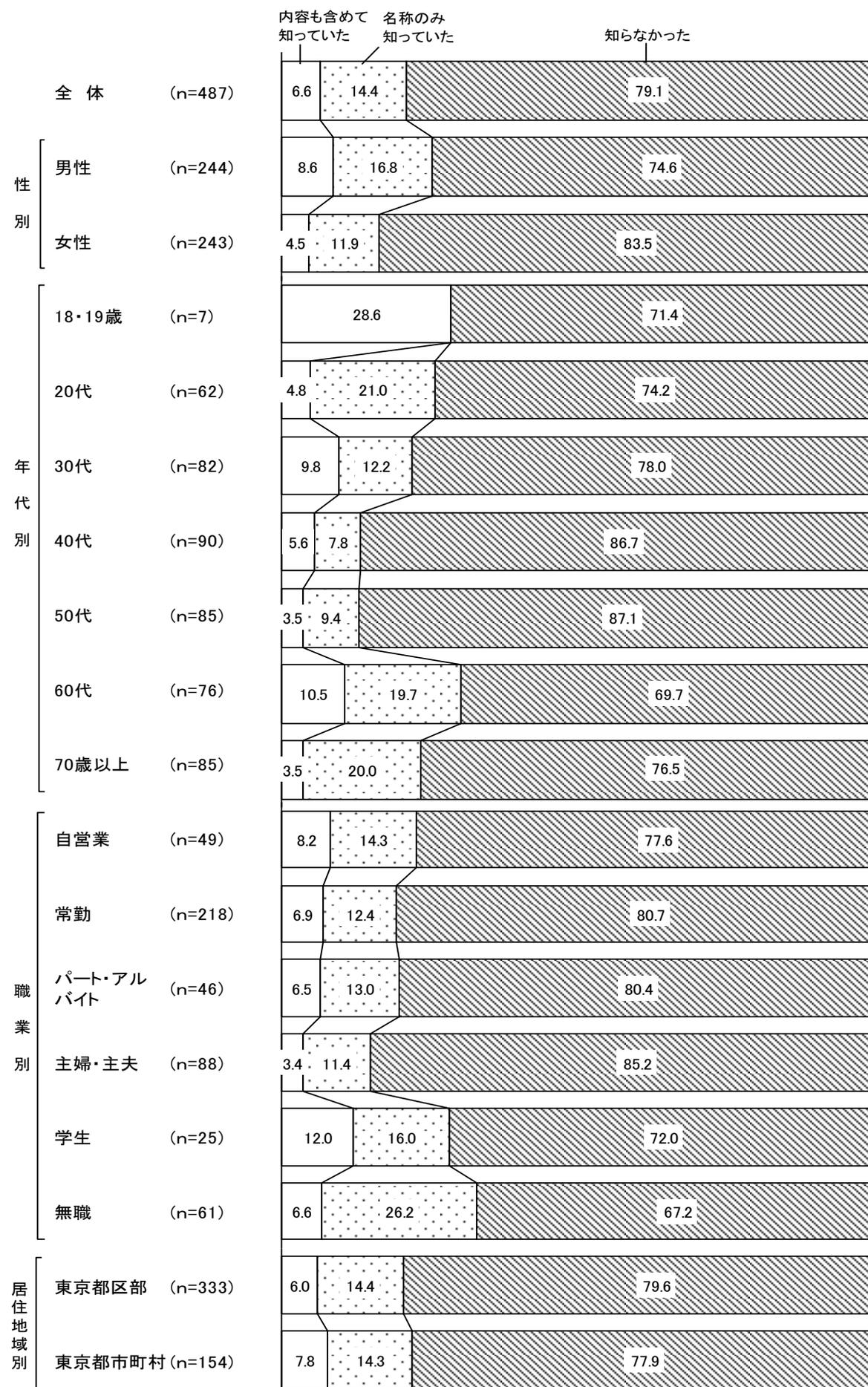
木育の認知度について聞いたところ、『知っていた』（21.0%）（「内容も含めて知っていた」（6.6%）、「名称のみ知っていた」（14.4%））が2割超であり、「知らなかった」（79.1%）は8割近くであった。

### 【参考】

- 森林環境税：個人住民税均等割と併せて、1人年額1,000円を国税として徴収。
- 森林環境譲与税：森林環境税の税込全額を、都道府県・区市町村へ譲与。  
譲与税は「森林整備及びその促進に関する費用」や「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充て、使い道を公表。

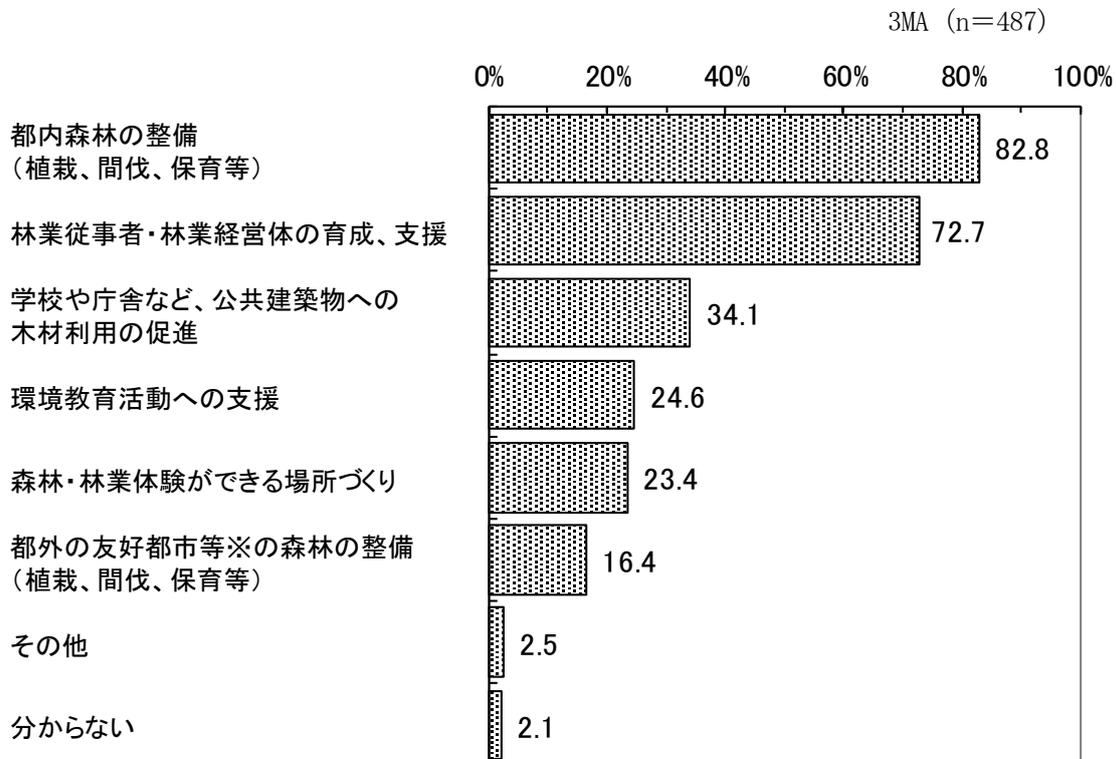


◎森林環境税等の認知度 (属性別)



## 森林環境譲与税の使途

Q16 あなたは、森林環境譲与税の使途として、何に活用すべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



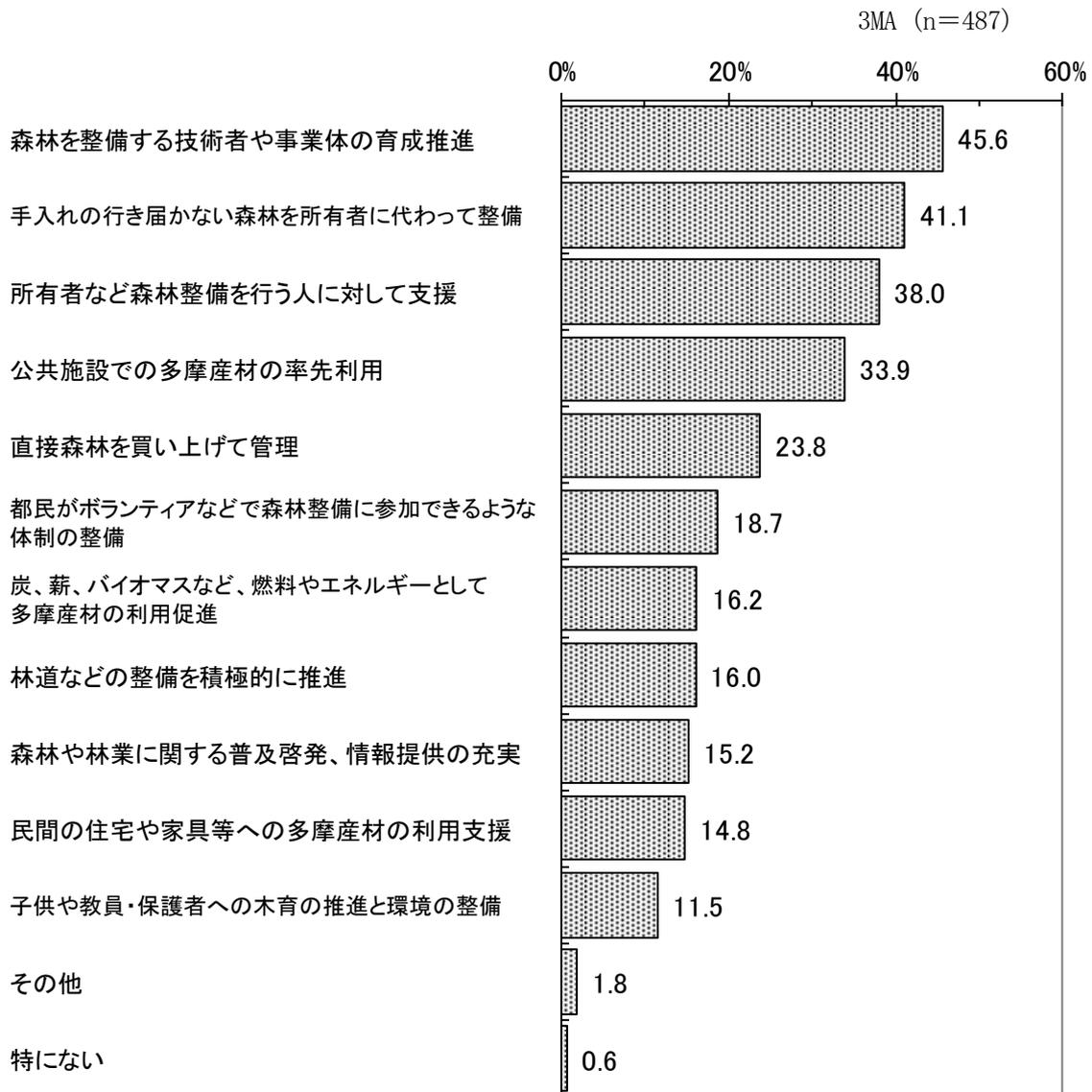
※ 友好都市等：各区市町村で提携している友好都市・姉妹都市

### 【調査結果の概要】

森林環境譲与税の使途について聞いたところ、「都内森林の整備（植栽、間伐、保育等）」（82.8%）が8割を超えて最も高く、以下、「林業従事者・林業経営体の育成、支援」（72.7%）、「学校や庁舎など、公共建築物への木材利用の促進」（34.1%）などと続いている。

## 東京都の森林・林業振興施策

Q17 東京の森林・林業振興のため、あなたは、都がどのような施策に力を入れるべきだと考えますか。次の中から3つまで選んでください。



### 【調査結果の概要】

力を入れるべき、東京都の森林・林業振興施策について聞いたところ、「森林を整備する技術者や事業者の育成推進」(45.6%)が4割半ばで最も高く、以下、「手入れの行き届かない森林を所有者に代わって整備」(41.1%)、「所有者など森林整備を行う人に対して支援」(38.0%)などと続いている。

## 東京の森林・林業について（自由意見）

Q18 東京の森林・林業や多摩産材について、ご意見をご自由にお書きください。

(n=469)

(1) 多摩産材（国産木材）に関すること	127 件
(2) 広報・PRに関すること	93 件
(3) 森林に関する施策全般	78 件
(4) 林業に関すること	69 件
(5) 森林の管理・整備に関すること	43 件
(6) 森林との触れ合い、イベントに関すること	33 件
(7) 木育に関すること	19 件
(8) その他	7 件

### （主なご意見）

#### （1）多摩産材（国産木材）に関すること 127 件

- 学校の授業で林業をされている方を間近で見た記憶があったため存在は知っていたが、多摩産材に名称があったり、マークがあったりしたのは知らなかった。  
(女性 20代 中野区)
- 私は今、多摩市にある大学に所属していますが、正直、多摩産材を知りませんでした。今後も、身近なところから啓発活動을 続けて、周知度を高めていただきたいです。特に、幼い子供への木育は有効だと思います。木と触れ合う機会を作ることが、将来興味や愛着を抱くきっかけになると思います。  
(男性 20代 練馬区)
- 東京と森林は結び付かないけど、無くさずに残せるだけ残してほしい。子供を持ったときに、ハイキングやキャンプをしたいと思った。また、東京の木々が使われている商品を見つけたら、使ってみたいと思った。(女性 30代 中央区)
- 多摩地域は、花粉症の人がつらいスギ花粉の生産地だと思っていましたが、多摩産材という名前まで付いている木材があることを初めて知りました。私たちに身近なお箸やお椀、テーブルや机など買いやすい物があれば、率先して買いたいと思いました。そういう商品がたくさんできればいいなと感じます。学校給食などでも多摩産材のお箸を使えば、子供たちから親へ話が伝わり、東京の林業を知ってもらえるきっかけになるのでは、とも思いました。新しい東京土産に多摩産材の商品が加わるといいなと思います。  
(女性 40代 品川区)
- 多摩産材について知ってはいましたが、まだまだ一般に認知されていないと思います。公立学校の机や椅子として利用したり、公園や図書館などの公共施設で取り入れたりなど、都民が多摩産材と触れ合う機会をもっと多くするのではないかと感じました。  
(女性 40代 板橋区)

- 多少価格が高くても国産の木の魅力は感じるができるが、その中でも「多摩産材」の良さは正直分からず、説明できないので、その魅力を知る場がもっとあるといいと思った。子供たちにこの美しい自然を残すためにも、自然の脅威も含めて伝えていけるような勉強する場があれば、自分も参加したいと思った。  
(女性 40代 西東京市)
- 多摩産材について知らなかったなので、興味を持ちました。若い人たちにもっとアピールすれば、林業に興味ある人もいっぱいいると思います。木材は公共施設などに活用して、幅広い年齢層が触れ合えるようになったらいいと思います。建物だけでなく、子供なら積み木、遊具など。高齢者にはベッドなど。  
(女性 50代 新宿区)
- 以前、幼稚園に勤務していた時に、多摩産材について知りました。興味はあったのですが、退職後になかなか触れ合う機会がなく、現在に至りました。都心部での多摩産材を使ったワークショップなどがあれば、大人も子供も参加でき、また興味を持つ方もいるのではないかと思います。  
(女性 50代 日野市)
- 東京の東部に住んでいるためか、東京の森林・林業にピンと来ないと感じたのを反省。美しい森があるのだから、大切に守り育ていく東京都であってほしいし、都民も力を貸すべきだと思った。多摩木材は公共施設で使用し、身近なものとして感じられるようになるといいと思います。  
(女性 60代 荒川区)
- 温暖化対策での森林の役割は分かっていたが、他にもいろいろな役割を果たしているということが分かった。日本の林業を衰退させないためにも、小さなことでも役立つよう国産木材の商品を使うようにしたい。  
(女性 60代 豊島区)
- もっと早く知っていれば、家具等を求めたかった。これからも、もっと都民の目に入る場所を増やしてほしい。そして、手に入れたいと思いました。  
(女性 70歳以上 中野区)

## (2) 広報・PRに関すること 93件

- 全く知らないことばかりであった。子供への教育で、東京都の取り組みを伝えるべきだと思った。  
(女性 10代 新宿区)
- 自分は今回のアンケートで多摩産の木材があることを初めて知った。都として、広報活動を広く行っていくべきではと感じた。  
(男性 20代 江戸川区)
- 多摩地域に住んでいますが、多摩産材について何も知らなかったなので、もっと積極的にアピールしていいと思います。  
(女性 30代 八王子市)

- アピールの難しさはあると思いますが、周知方法を更に検討した方がいいかと感じます。 (男性 40代 府中市)
- 東京は、奥多摩に代表されるように森林資源が豊富です。東京の意外な一面として、もっと宣伝して行ってほしいです。 (男性 40代 稲城市)
- 今回のアンケートで、初めて知ることが多かったです。普段、新聞やテレビのニュース、Web から積極的に情報を入手していると自負していますが、東京の森林・林業の情報はあまり目にしません。新規取組やイベント、あるいは学校との共同作業など、何かニュースを作り、発信していく姿勢が大切かと思います。 (男性 50代 渋谷区)
- 休日に奥多摩へ行ったとき、東京の森林を大切に維持するのを感じます。林業の活動は日常生活では目に付かないので、東京都が積極的にアピールする必要があると思います。また、多摩産材を建築に使うのもいいですが、椅子やテーブルなど日々触れるものに使用するとアピールできると思います。 (男性 50代 府中市)
- 今回のアンケートで、今住んでいる場所から少し離れた場所にある東京の森林について、今後どう生かしていけばいいか考えるようになった。東京にある貴重な森林資源を生かすために、水道水の「東京水」と同じように、東京の木材も積極的にPRしてブランド化していければと思います。 (男性 60代 多摩市)
- あまりこういう事例を見聞きすることが少なく、もっと積極的に情報発信するべきだと思います。SDGS が大きく取り上げられている今こそ、より多くの人に知ってもらい、何らかの形で気軽に参加できる機会を増やしてほしいです。 (女性 70歳以上 品川区)

### (3) 森林に関する施策全般 78件

- 個人的に東京都は、他県に比べると高層ビルや土地面積も関係はするものの、森林が少ないように感じます。ビルに森林(木材やミニサイズの森など)を置くことで、少しでも自然を感じられるといいかなと思います。  
多摩産材に関しては、公共の物にところどころ使用することで、多摩産材の存在や有用性について周知できると思います。  
林業者の人数の増加は、今ある危険や大変といった負のイメージを、環境を整えて改善することが大切だと思います。  
また、木材を使用することで使用者に有益であることを実際に体験してもらうことで、木材を利用した製品が普及すると思います。 (男性 10代 三鷹市)

- 森林と聞いてまず花粉症のことが思い浮かびました。継続的な林業のために、人材育成は急務とのことですが、花粉症解消のための事業を計画して、無花粉の杉や松に植え替えていく事業は都民の理解を得やすいのではないかと思います。  
また、区部に住んでいると森林や林業に触れる機会がほとんどないため、日常で使用する施設や地下鉄等でも木材をもっと使用して、身近に感じていただけるようにしたらよいのではないかと思います。 (男性 20代 新宿区)
  
- 森林に親しみを持ち、大切にしようという意識をより多くの人に持ってもらうためには、森林地域のみに対する取組だけではなく、都市部や住宅地域においても木々が身近にあり、その恩恵を感じられる(夏場の気温が下がる等)取組をすることも必要だと思う。 (女性 40代 中野区)
  
- 環境問題の観点から森林保全は公的利益の多い事業だと思うので、国や都が所有することも意味があると思います。ビジネスとしてまだまだ開拓余地があると思うので、アイデアを持つスタートアップ企業をバックアップするなど、若い人へのアプローチも有効なのではないかと思います。  
林業に興味はあるが、どういうステップで就業できるのか分からない人も多いと思うので、オンラインセミナーの開催、分かりやすい就業ステップの周知(Web展開)、具体的な仕事内容の公開(動画)、体験募集など、ITを使って展開するのも良いと思います。 (女性 40代 北区)
  
- 多摩地区は大学が多くありますので、それらを活用するためのプロジェクトを立ち上げて、学生らに参加してもらうのがいいと思います。課題解決する力を養うことと、問題の認識において有効かと思います。 (男性 50代 足立区)
  
- 林業に関わる人材の育成や、生業として林業を選択できる環境や収入面への支援をお願いしたいです。東京はCO2をたくさん排出していると思いますし、減災、水源保全などの役割もあり、都会との対比で身近な自然に触れられる場所としても森林を大事にしていきたいです。  
多摩産材は個人で買うにはたぶん高そうですが、身近な公共施設などでどんどん使われて都民が触れられるといいと思います。 (女性 50代 小金井市)
  
- 東京都の森林・林業問題を解決するため、全国的な課題として東京都が積極的に働きかけることを望みます。 (男性 70歳以上 文京区)

#### (4) 林業に関すること 69件

- 林業に従事することは大変なことだと思うが、これからも東京の森林が守られていくことを願う。そして、林業に携わっていらっしゃる方々への支援がしっかりと行われていくための体制を整えていただけたらうれしい。

(女性 10代 荒川区)

- 高尾や奥多摩の山を登っていて、森林に関しては割と興味があった。山道を歩いていると、切られた木が転がっていたりするが、実際に切っているところを見たことはない。

林業に関する興味はあまりなかったため、どのような仕事をして、どのくらい稼げるのかなどといった知識がなかったため、林業に携わろうと思うことがなかった。林業について知れる機会があり、林業の魅力を伝えられることができれば、人も増えてくると思う。

現在、様々な場面で機械化が促進されているが、山道を歩くことで分かる、森林の機械化の難しさ。こんなところに重機が入るのは大変そうなど思うことがあり、やはり機械では解決できないものも多いのではないかなと思う。そのためには、やはり人材が必要だと思うし、知識も必要だと思う。

対面式の講座でなくても、オンラインで林業に関する講演会があれば、多くの人に林業を知ってもらえる機会になると思う。

(男性 20代 国立市)

- 23区内に住んでいると、ほとんど多摩地区の情報は入ってこないし、林業についてもぼんやりとした知識しかない。子供たちに教えるにしても、「そういう仕事の人もあるんだ」という域を超えない気がする。

製品として売っていきたいのであれば、もっとブランド力を持たせるように、おしゃれなアンテナショップを作ったり、林業従事者を増やしたいのであれば、憧れの職業になるロールモデルを押し出したり、自然に近い場所に移住するメリットなどをアピールするのではないかなと思う。

(女性 30代 品川区)

- 林業従事者がたった260人というのに驚きましたが、これだけ人口の多い東京なので、きっと林業で働いてもいいと思う人はいるはず。まずは週末に親子体験や就業体験を実施し、少し興味を持っている人と積極的に接点を作りに行くことだと思います。民間のボランティア募集サイトや就職転職情報サイトも活用されたらよいのではないのでしょうか。

(男性 40代 江東区)

- 林業に興味があっても、都内の多摩で仕事ができると知る人は少ないのでは。自然の中で働くことに憧れる若者は多いと思うので、東京でできることをアピールするべきだと思う。

(女性 40代 府中市)

## (5) 森林の管理・整備に関すること 43件

- 誰も手入れをせず放置状態で、陽が当たらずに倒れた木々の森林を見ると、とても残念な寂しい気持ちになります。どうか手を入れて豊かな森になってほしいと願わずにはられません。  
多摩の森が生き生きとした森でいられるよう、私も協力できるところはしてみたいと思っています。身近なところでは、間伐材を利用した製品を利用する事かと思っています。(女性 40代 大田区)
- 資源としての森林と、癒しの場としての森林の両方を維持管理していく必要があると思います。(女性 50代 港区)
- 23区内に住んでいると、多摩産材について全く知らなかったの、興味もなかった。東京都は緑豊かなことをもっと都民に知らせてほしいし、楽しくボランティアができることがあれば参加し、大切なことをしっかり認識できるようになれば、その先には大変でも奉仕してみたいと思う気持ちが目覚めると思った。(女性 50代 葛飾区)
- 登山が趣味なので、奥多摩にはよく行きます。豊かな森林は活用することも大事だとは思いますが、そのまま残すことも大事だと思います。動植物の生態系に手を加えないという意味です。登山道の木道が整備され過ぎていると、便利だと思う半面、少し残念な気持ちになります。(女性 60代 練馬区)

## (6) 森林との触れ合い、イベントに関すること 33件

- 森林や林業、多摩産材について、今までほとんど考えたことはなかった。森林浴などをして森林や林業を考えるイベントなどがあるなら、参加したいです。(女性 20代 中野区)
- 東京の都心に住んでいる人が自然豊かな多摩地域に出かけやすいよう、バスツアー等もっと頻繁に組んでくださるといいと思います。(女性 40代 多摩市)
- TVなどで植林の様子を見るたび、一部の人のイベントになってはいけないと思っている。最近、林業も効率化や後継者育成に力を入れているように思う。小さいうちから土や木に触れる機会を増やし、木のぬくもりや使い勝手など、理解できるイベントや啓発が必要だと思う。汚い・苦しいなど負のイメージが持たれないようにする必要があると思う。(女性 60代 府中市)

## (7) 木育に関すること 19件

- 東京にも豊かな自然があることがうれしいですし、大切に守っていきたくいです。東京の森林や林業、多摩産材について、学校で学ぶだけではなく、親子や家族を対象とした様々な形の体験学習やイベントでの学習機会があればいいと思います。担い手が増え、森林に親しむ機会を都民が享受できることを期待します。都内から公共交通機関で行く際の交通費補助があると行きやすいです。ぜひ検討してください。 (女性 40代 北区)
  
- 多摩産材、木の香り、ぬくもり。幼児のころからの体験学習が特に大事だと思います。おもちゃも木で作ってあったりしたら、感性が磨かれて自然の教育となると思います。ぜひとも広げてください。 (女性 70歳以上 島しょ)